市長退職金1/3条例否決!国保、後期高齢者医療保険、介護保険料値上げ!
市民に負担を求める前に、行革の推進を!

議会にて、市長の選挙公約である「退職金1/3条例」が否決されました。「報酬等審議会の答申を得るべき」とのことですが、これまで一貫として「判断する立場にはない」との答申が出されております。また、市長は「退職金というのは任期の4年後ということになりますので、この任期の間に実現をする」とのことです。しかし、西宮前市長のように、任期の途中で辞任され、退職金の削減を免れた事例もあります。4年連続での市長、職員、議員らのボーナス値上げ条例も提出されましたが、身を切らずして以下のような市民負担増を要求するのは、おかしいのではないでしょうか。新年度予算編成もたるんでしまいました。

平成30年度より、各種保険料が値上げとなります。
市民負担を求めるのであれば、行革を進め、市民理解を得なければなりません。

- **国民健康保険税、所得割額0.3%、均等割額1,000円、付加限度額2万円増に。**
  例えば、世帯所得500万円の夫婦、子ども2人家族の場合、17,600円増の534,400円。
- **後期高齢者医療保険料、一人当たり平均保険料見込額は、1,635円増の97,127円に。**
  例えば、年金収入年253万円の2人世帯では3,100円増の56,400円。
- **介護保険料、基準月額が280円増の6,240円に。**
  例えば、市民税課税で合計所得金額400～600万円未満の方は年9,600円増の134,800円。

本会議における審議結果

平成30年第1回定例会 賛否の分かれた議案一覧

		むさしの志民会議			自由民主・市民クラブ										民主生活者ネット					空(そら)			市議会公明党			日本共産党武蔵野市議団		無会派	無会派
		竹内 まさおり	下田 ひろき	深田 貴美子	堀内 まさし	ひがしまり子	土屋 美恵子	木﨑 剛	小美濃 安弘	きくち 太郎	与座 武	藪原 太郎	蔵野 恵美子	西園寺 きみこ	川名 ゆうじ	深沢 達也	山本 あつし	笹岡 ゆうこ	斉藤 シンイチ	大野 あつ子	浜田 けい子	落合 勝利	しば みのる	橋本 しげき	本間 まさよ	内山 さとこ	山本 ひとみ
議員提出議案第1号	武蔵野市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×
議案第11号	武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	×
議案第13号	武蔵野市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	○
陳受30第3号	核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書の提出を求めることに関する陳情	退	退	退	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○		○	○
陳受30第4号	日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書の提出を求めることに関する陳情	退	退	退	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○		○	○
議員提出議案第3号	核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書	退	退	退	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○		○	○
議案第35号	武蔵野市教育委員会教育長の任命の同意について	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○
議案第26号	平成30年度武蔵野市一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
議案第28号	平成30年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退		○	退
議案第30号	平成30年度武蔵野市介護保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退		○	○

議長につき議決権なし

「境駅前コミュニティ・センター」を提言!
<「旧武蔵境開発事務所」の利活用>

武蔵境駅北口(境1丁目・2丁目)は、コミセン空白エリアです。これからこそ、コミュニティの活性化が期待されます。駅前学童保育もセットの複合施設を提案中!

「旧平井医院跡地」(東町1-12-24)は公民連携で!
<「福祉目的の遺贈物件」の利活用>

平成30年度公民連携事業予算に計上されました。3/21(水)PPP説明会では、「小ぶりのテンミリオンハウスで、子どもから高齢者までの居場所を」とのご意見がありました。医療と介護・看護の課題解決へと期待が高まります!

会派で視察 (加藤リサイクルプラント)

武蔵野市の資源ごみ、ビン・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装の回収・中間処理を委託している瑞穂町の工場に行って参りました。スタッフの方が手作業・目視で分別を行い、汚れている容器や対象外の廃棄物などは本市に戻され、クリーンセンターにて処分されているとのことです。(容器包装プラごみのおよそ8%が返戻)。これからもごみの分別にご協力をお願い致します。

議会報告 2018年 春号

武蔵野市議会 無所属会派

むさしの志民会議

発行日／2018年4月27日　発行元／武蔵野市緑町2-2-28 むさしの志民会議　TEL:0422-60-1885

平成30年度予算は、会派で要望した複数の事業が実現しました。しかし、まだまだ満足することはできません。また、市議会発行の「議会だより」に我が会派だけ討論を掲載させてもらえないなど、市民の知る権利を奪われてしまっているという課題もあります。政治不信が解消できるよう、無所属無党派のむさしの志民会議は改革を続けます。

情報交換会、皆様のご意見お聞かせ下さい。
<入退出自由!>
4/27(金)19～21時▶桜堤コミセン
5/12(土)10～12時▶緑町コミセン
5/18(金)19～21時▶御殿山コミセン

竹内　まさおり

昭和62年生まれ、妻・子2人。中央第二幼稚園、第四小学校、東京電機大学中学高等学校、中央大学、大前研一ー新塾。コミュニティカフェ元経営。断捨離、ウェブ活用による直接民主制の推進を!
TEL:090-8347-8933
takeuchimasaori@gmail.com

深田　貴美子

昭和34年生まれ、都立日比谷高等学校、東京女子大学大学院博士後期課程単位取得、法政大学大学院特任研究員。本宿小PTA、青少協、日赤奉仕団活動を経験。不撓不屈・臥薪嘗胆・粉骨砕身。
TEL:090-8025-4457
Ippo-ippo@fukakimi.net

下田　ひろき

昭和51年生まれ、栄光乃園幼稚園、桜堤小学校、第二中学校、明星学苑明星高等学校卒業、父は直木賞作家の志茂田景樹。カリスマタクシー運転手としても活躍中。脱ムダ!
TEL:090-8011-1000
piro_cocoa1000@yahoo.co.jp

「家族が欲しい」という市民の希望が叶えられる市政運営を!

松下新市長 爆弾発言!

「合計特殊出生率を上げるつもりはありません。」

少子化が止まらない中、財政力トップクラスのここ武蔵野市の合計特殊出生率は、平成28年度で1.19と多摩26市ワースト2位! 23区平均以下!更に、平成29度の出生届は1,157件、死亡届は1,184件と、死亡者の方が多い状況となってしまっております。しかし、このような状況にも関わらず、松下さんは、「合計特殊出生率を上げるつもりをありません」と発言されました。また、本市の高齢出産割合は約4割と全国最高水準!それにも関わらず、「晩婚化は、市の課題であるという認識は持っておりません」「自治体の役割として、結婚支援を行うことは考えておりません。」との答弁もありました。

選挙で掲げられておりました「子ども子育て応援宣言」というスローガンは、退職金の削減公約と同様に、有権者への裏切り行為ではないでしょうか。

結婚するしない、子どもを産む産まないは個人の自由です。しかし、希望者への支援は重要であり、国や東京都では、保育所の整備に加え、「出会いの場づくり、結婚支援、不妊対策、晩婚化対策」に取り組んでおります。つまり、子どもを身ごもってからの支援ではなく、その前段階からの支援が求められているのです。

「合特殊出生率は上げるつもりはない」
「結婚支援は行わない」
「晩婚化は課題ではない」

そのような軽率な発言で、市政運営の可能性を狭めることは許されません。家族形成を希望する市民に対し、最大限の支援が必要です。

今回の一般質問

竹内　まさおり

ヒト・モノ・カネ・情報を有効活用し、市民負担の軽減を!

Q 本市の庁舎面積は市民一人当たり26市内最大、平均の約1.8倍も広い。また、隣接する新クリーンセンターには、3つの会議室、3つの更衣室、シャワールーム、3つの見学者ホールがある。今後、隣に建設する新管理棟にも、2つの会議室、3つの更衣室、シャワールーム、見学者ホールやコミュニティラウンジのスペースを設ける設計となっているが、それらを共有し、もう少しコンパクトに設計できたのではと考えるが、見解は。

A 必要な諸室として算定しており、兼用することはできない。

Q 本市の本会議場は、年間25日しか使われていない。経済的理由で結婚式を挙げない夫婦が増加していることを受け、本会議場を簡易挙式の式場として活用し、門出を祝福する自治体が増加しているが、本市でも活用を検討してはどうか。

A 本会議場には本来の目的があり、市民からの意見もない。結婚式の会場として使用することは考えていない。

他、21問質問しました。

これまでに実現が決まった政策

- IP電話（平成27年決算特別委員会）
- ファミリーサポート事業（平成28年第1回定例会）
- 子育て支援サイト（平成28年第2回定例会）
- スマートフォンのGPSと写真機能を活用した地域課題共有システム（平成28年第2回定例会）
- 学区の変更（平成28年文教委員会）
- 自殺対策（平成28年第3回定例会）他

今回の代表質問

深田　貴美子

人口知能（AI）とIoTを駆使した「Society5.0」時代への武蔵野市の基盤整備について

「Society 5.0社会」とは――

平成29年度版総務省「情報通信白書」によれば、わが国では、平均56.8%の人々がスマホを保有しています。交通渋滞による経済損失は、12兆円、飲み残しの処方薬は、約300億円から1200億円。この課題を、IoT、人工知能（AI）、ビッグデータによるイノベーションで解決できれば、この約12兆円強は、福祉・医療・教育等に振り向ける財源となります。素敵なことです。

平成30年度予算への代表質疑では――

「新クリーンセンター」でのごみ焼却バイオマス発電を拠点とした「武蔵野スマートシティ」と、地域エネルギーマネジメント（CEMS）の展開に、国費1500万円を獲得できたことは大評価です。だからこそ、都水早期一元化、下水道終末処理の広域合意、「自治体クラウド」への挑戦、吉祥寺南病院早期建替え、加えて、「Society5.0」社会を生きる子どもたちの未来の教育への環境整備等といった、武蔵野市の社会インフラ整備早期着手を強く求めました。

提言が実現!

- **「看護小規模多機能施設開設」→安心の在宅介護・看護を!**（H29.3 一般質問）
- **「病児・病後児保育の開設」→吉祥寺エリアについに実現!**（H19.9 一般質問）
- **「保育の質の向上」→強力な指導力の保育巡回アドバイザーを投入!**（H28.12 一般質問）
- **「エネルギー地産地消最適化事業」→武蔵野のスマートシティの実現!**（H23.12 一般質問）
- **「市有地活用に関する公民連携可能性の調査」→民間活力で、地域課題を解決!**（H21.9 一般質問）
- **「防災情報システム更新検討業務」→平成20年来の課題の解決!**（H20.2 一般質問）
- **「学校給食施設の整備」→HACCP導入で、より衛生管理を高めます!**（H29.6 一般質問）

今回の一般質問

下田　ひろき

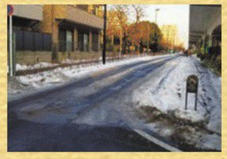
商工会館市民会議室の管理運営費972万の見直しを! 職員の再就職先に特命随意契約!

吉祥寺に商工会館があり、その中に市民会議室ゼロワンホールという会議室を、武蔵野商工会議所に特命随意契約で指定管理を年間972万で委託しております。今回の一般質問において、2名の職員OBも雇用されていることも明らかになりました。

市民から見れば、天下り先になっていると思われても仕方がない団体に、随意契約で高額の管理運営費を支出していると思わざる得ない状況です。市長答弁は、「今後平成32年3月までの契約なので、今後次期指定管理選定時に見直すことも考える」という内容でした。

脱ムダを掲げている私としては、今後市民負担が増える中、削れるものは削り無駄をなくしていくことを行政に今後も提案していきます。

大雪の対策や対応は迅速に!



1月22日より23日にかけて大雪となり、本市においても30センチ以上の積雪になりました。23日以降も氷点下の日も続き、雪が中々溶けず道路や歩道に残雪の影響で、1週間間以上凍結した路面があったり、交通の要である武蔵境駅北口広場において路面凍結が放置されていました。また、武蔵境駅の西へ向かう市道においては、本市と小金井市の市境で小金井市に入ると顕著に雪がなく路面凍結が解消されており、市民サービスが充実している本市の対応が遅いなど市民からお叱りなどをいただいたところでもあります。今回の大雪の教訓を活かした対策や対応などについて迅速に対応し、市民の安全確保、道路管理者としての瑕疵がないように要望したところでもあります。

新設の箱モノ行政に対し、パブコメの実施を確約!

旧クリーンセンターの事務所棟を改修し、エコプラザ（仮称）という環境啓発施設を整備するといった計画があります。しかし、これは大震災前や公共施設等総合管理計画の策定前の構想であり、積算された**建設費5.5億円**と**その他ランニングコスト**を考えますと、新たな箱モノ整備は慎重に行わなくてはなりません。例えば、老朽化したリサイクルセンターと複合化を図るなど、市民への負担が増えないように工夫すべきだと考えます。三鷹市では市民意見によって、太宰治文学館の計画が見直されました。本市においても設計に入る前に、コスト情報なども含めたパブリックコメントを実施するよう、市長に確約して頂きました。

経過報告

「入札に関わる不適正事案」、市長は再発防止に厳重なる措置を!!

内部から通報のあった「入札に関わる不適正行為」に対して、公益通報委員会より「公益通報委員会調査報告書」（H30.3/30付）が通報者に送付されました。法律違反の事実や行為は確認できなかったとするも、不適正な手続きがあったとのこと。一方、通報者は「情報漏えい・談合・改ざん」等が疑われるやり取りを指摘しています。リニア談合、森友財務省文書改ざんのことも踏まえ、市長には抜本的な改善措置を求めます。

子どもたちの教育の未来は? 「武蔵野市小中一貫教育導入」をストップか?

武蔵野市教育委員会は、今後60年間を見据え「小中学校施設一体型義務教育学校」を提案していました。主な理由は以下のとおりです。

❶学習指導要領の改定で、小学校からの「英語」「プログラミング教育」が必修になること。

❷反復学習が可能となり、児童生徒の学力が向上すること。

❸職員室をひとつにすることで、情報共有とカリキュラム作成の質が高まること。

❹特別支援教育児童生徒に、切れ目のない学校支援体制が作れること。

つまり、小中教育のチーム体制の提案です。

むさしの志民会議は、「施設併設型複合多機能学校」（コミュニティスクール）を提言!

検討委員会は、今後「施設併設等」のプランも含めて検討を答申しました。松下市長と市長与党会派は、教員のさらなる多忙化、学校施設の縮減は許さないなどと、的外れな異議を唱えています。また、松下市長は、会派代表質問でも、「質問の意味があいまいで」などと、ご自身の教育観を示しませんでした。一体、だれのための教育改革なのでしょうか。また、松下市長は、改革に取り組む教育長を任期切れとして、慰留もしませんでした。「総合教育会議」（5/1開催）での、市長見解が注目されます。